

佳作  
(高校部門)

兵庫県立小野高等学校 1年

やまばな  
山端 結

「だって、こころちゃんは毎日、闘ってるでしょう?」

(辻村深月「かがみの孤城」から)

私は体調を崩しやすく、中学生の頃、学校をたくさん休んでしまったことがあった。しかし別に病気というわけではなく、「気持ちが悪くだけじゃないの」「本当は学校行けるんでしょ」という声に罪悪感を感じていた。ちようどその頃、部活動は最後の大会に向けて盛り上がっていたし、みんな高校受験に向けて本格的に勉強を始めていた。なのに私は…と、焦りと不安、情けなさでいっぱいでした。そんな時にこの言葉に出会った。本の中で先生が不登校の生徒に向けた言葉だ。こんなにも優しい言葉があるんだと息をのんだ。高校生になった今も、この言葉に支えられている。今先が見えず悩んでいる人に、きっと大丈夫、大丈夫だよ、と伝えたい。

出典

「かがみの孤城」辻村深月・著 ポプラ社